

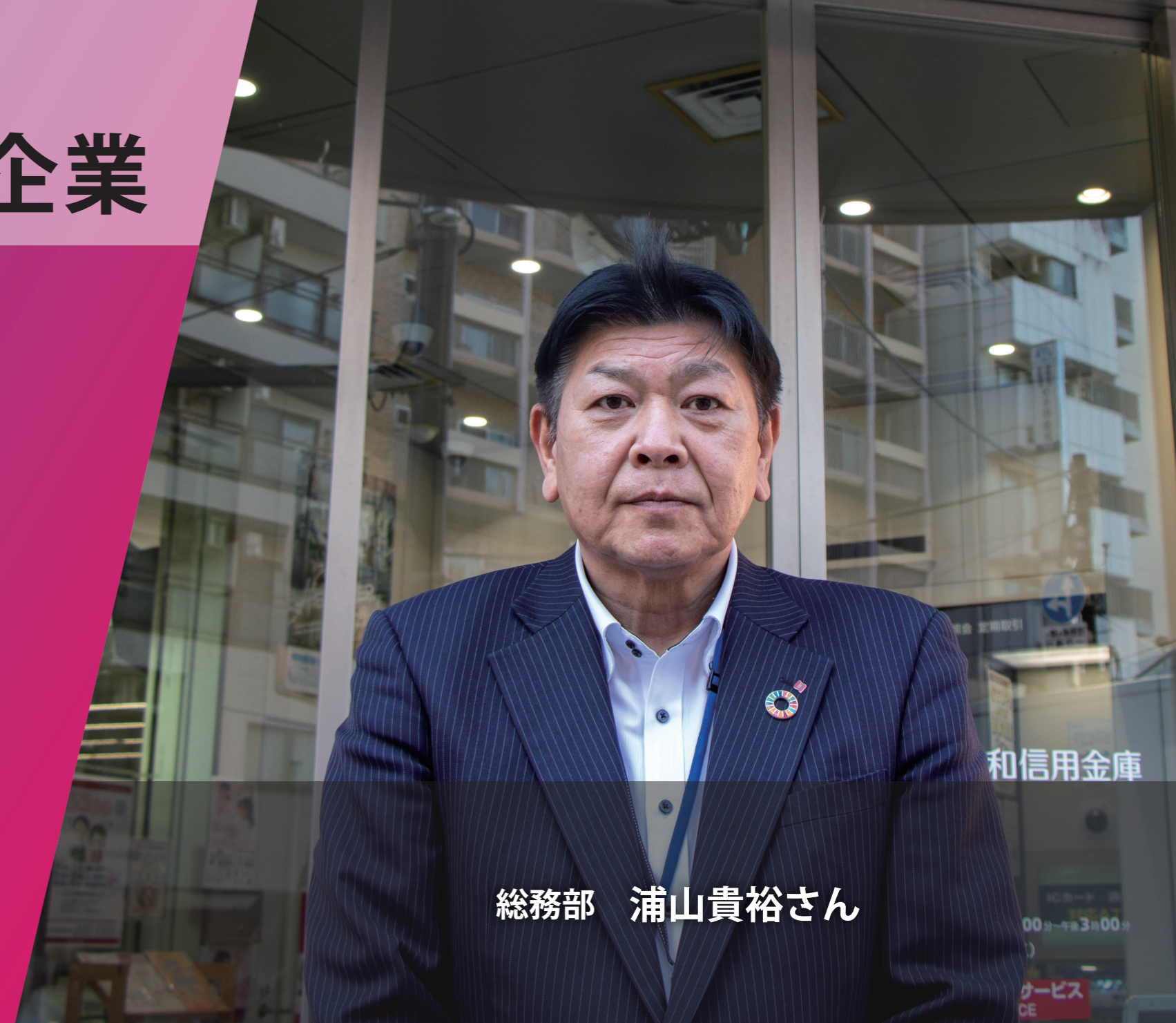
令和7年度 東京都事業所防災リーダー優良企業

大規模事業所部門

金融業・保険業

足立成和信用金庫

1923年の関東大震災からの復興を起点に創業した足立成和信用金庫は、「地域応援！“おせっかい宣言”」を掲げ、地域の安心・安全に貢献。職員14名が足立区内の消防団に加入し本店・本部ビル内では、自衛消防隊を結成するとともに、帰宅困難者受入施設として地域防災の中核を担う。



総務部 浦山貴裕さん

消防団加入で築く

実践的な防災体制

当金庫では職員14名が足立区内の消防団に加入し、自衛消防隊を結成しています。本店・本部ビルでは各フロアに消防団加入者を最低1名配置する方針を掲げ、各店舗においても最低1名の加入者を今後募る予定。「防災の日」や春秋の火災予防運動では、消防庁のオンライン教材を活用した訓練を全店舗で実施し、店舗周辺の避難所やハザードマップの現地確認を義務化しています。さらに職員全員が救命講習を受講し3年ごとに更新するなど、日常的な訓練を通じて実践力を強化しています。なお、全拠点にAEDを設置しております。



スタンドパイプ12か所の設置・年2回の訓練を継続。

帰宅困難者受入と駅前協議会での訓練実施



帰宅困難者受け入れ訓練の様子

当金庫は本店・本部ビル6階の会議室を最大70名収容の一時滞在施設として登録し、水・アルファ化米・毛布などを備蓄しています。2016年に足立区と締結した協定に基づき受入体制を整備し、北千住駅前滞留者対策推進協議会にも参加。2025年には駅から施設までの誘導、受付システムの運用、階段利用など実践的な受入訓練を実施しました。地下には「東京都滞留者施設災害時拠点強靱化事業」に関する補助金を活用し、大容量給水タンク「マルチアクア」を設置し約1,000名分の飲料水を確保。独自マニュアルを整備し、地域の安全に貢献しています。